

前回の掲載はお正月でしたが、薬剤師国家試験も終了し、若葉の美しい季節になってきました。芝生の上に寝転んで空を眺めながらゆっくりしたいところですが、さっそく、薬局実務実習の話に入りましょう。1回目は薬局の調剤室内での着目点に、2回目の前回は外に出る在宅訪問服薬指導の話をしました。3回目の今回は、「処方せん」について考えてみましょう。

# 実践!! 薬局実務実習

## そのポイントと着目点

オオノ 人材開発部  
小林 満

3

# 改めて「処方せん」を考える

『処方せんなんて、大学の実習前講義でしっかり教えてもらっているのに、薬局に行っても、なぜ同じことを繰り返すの!』と感じる方もいるかもしれません。でも、なぜ同じことを繰り返すのでしょうか。

結論を言えば、それは処方せんが情報の宝庫で、とても重要な内容が含まれているからです。保険薬局に勤務している薬剤師は、薬剤師国家試験合格の証明である薬剤師免許以外に、保険薬剤師という資格を有しています。保険に基づく調剤の場合、健康保険法や船員保険法などの法律を遵守しなければなりません。薬学4年制において、大学の講義で薬事関連法規は4年次に学習することが多かったようですが、6年制では3年次または4年次に受講するように変わり、薬局実務実習時に大学講義で習得した薬事法、健康保険法などの法律や保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則に基づいた調剤の重要性を実務の中から復習することが可能になります。

処方せんの上部には、氏名、生年月日や保険番号・記号などのこれら関連法規の規定に従った情報が記載されています。

しかし、情報の宝庫である処方せんは、これら保険に関する情報が含まれているだけではありません。

保険情報に続いて記載されている“処方”の欄にも多くの情報が含まれています。

“処方”に書かれている文字を“文字”のまま眺めてはいけません。耳にタコができるほどの『処方せんは眺めるのではなく、

処方せんは情報の宝庫

読むのだ!』という言葉思い出してください。

目の前の処方せんを、文字が記録された用紙と認識して、その医薬品を取り揃えるだけにとどまっていると、似たような名前の医薬品を取り揃えるミスをしてしまう可能性があります。処方せんはそのような大切なことも教えてくれる情報の宝庫なのです。

そして、1回目でも話しました患者さんの背景も処方せんに現れてきます。“一包化”と記載されている文字は、自動調剤分包器を使用することを伝えているのではなく、のみ忘れてしまう、手指の変形や指先の潰瘍などで薬が取り出しにくい——などの情報を伝え

# 眺めるのではなく、読むもの

保険薬局内で、薬歴や服薬指導に関するミーティングを開いて情報を共有したり、製薬会社のMRさんによる添付文書改訂情報や新薬に関する病態・薬理の勉強会を開いている薬局も多くあります。

大学の先生から、『実習は9時から6時まで行き、その後はすみやかに帰宅するように!』と指示されているかもしれませんが、薬局によっては休憩時間やピークを過ぎた午後後の時間帯に勉強会を開いているところもありますので、『聞いてもまったく分からない』と控えめにせず、積極的に参加してみるのも良いと思います。

勉強会に参加すると、自分の視点と違った

内部勉強会もチャンス

てくれています。

ひとつの医薬品が持っているいくつかの薬理作用に対して、その患者さんにはどの薬理作用の発揮を目的としているのか、それ以外に現れる可能性のある薬理作用（副作用）をいかに防ぐのか、薬剤師が行うべき行動に必要な情報が含まれています。

これら処方せんに含まれている情報について判断するためには、日々追加されていく情報を入手し、身につけていかなければなりません。

物の見方を得られるかもしれませんし、新たに明らかにされた医薬品の薬理作用や副作用を耳にして、自分で再度勉強する機会を手にすることができるかもしれません。

処方せんはlook（紙に書かれた文字に視線を向ける）ではなく、see（医薬品が目に見え、その患者さんの状態を思い浮かべられる）しなければいけないことに実習の中で再認識することができるでしょう。

○ × ○ × ○

今回は、『たかが処方せん』とならぬよう、大学で学習したことを、現場で再認識できるのが薬局実習であることを話しました。

次回4回目では『薬剤師以外の人と話してみよう』という視点で考えてみたいと思います。

「薬事日報」をインターネットで

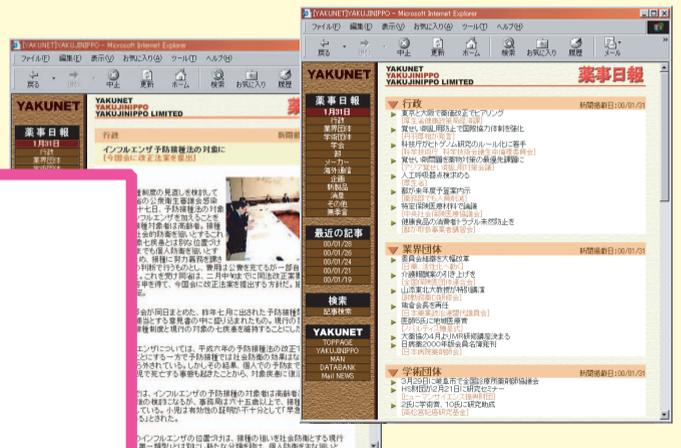
# YAKUNET

**YAKUNET**  
薬事日報データベース  
Medical Academy NEWS データベース  
DATABANK  
YAKUNET Mail News

いまなら無料でYAKUNETが試せます

YAKUNETの「無料おためし」を申し込むと約1週間有効なIDとPASSWORDがE-Mailで送信されます。送信されたIDとPASSWORDで、YAKUNETを無料で試すことができます。

まずは <http://www.yakuji.co.jp/> にアクセス!



YAKUNETに関するお問い合わせ・申し込み  
株式会社 薬事日報社  
企画開発局電子メディア室  
〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1番地  
TEL: 03-5822-2455  
E-Mail: info@yakuji.co.jp